

新潟県立大学(仮称)基本構想

～本県の発展を担う中核的人材の育成を目指して～

1 県立大学設立の必要性

- (1) 高等教育機関の更なる充実
県内の高等教育機関は一定の拡充が図られてきているものの、いまだ四年制大学進学者の約7割が県外の大学に進学している現状であり、高等教育機関の更なる充実が必要です。
- (2) 本県の発展を担う中核的人材の育成
高度化・複雑化する企業や地域社会のニーズに的確に対応し、本県が今後とも日本海側の拠点地域として発展していくためには、これを担う中核的人材の育成が必要です。
- (3) 人材育成の一翼を担う大学の設立
人材の育成は各大学などがその特色を活かしつつ担っていくべきものですが、県立女子短大が培ってきた教育の伝統と知的財産を活かし、人材育成の主要な一翼を担う礎を築くためにも県立大学の設立が必要です。

2 県立大学の理念

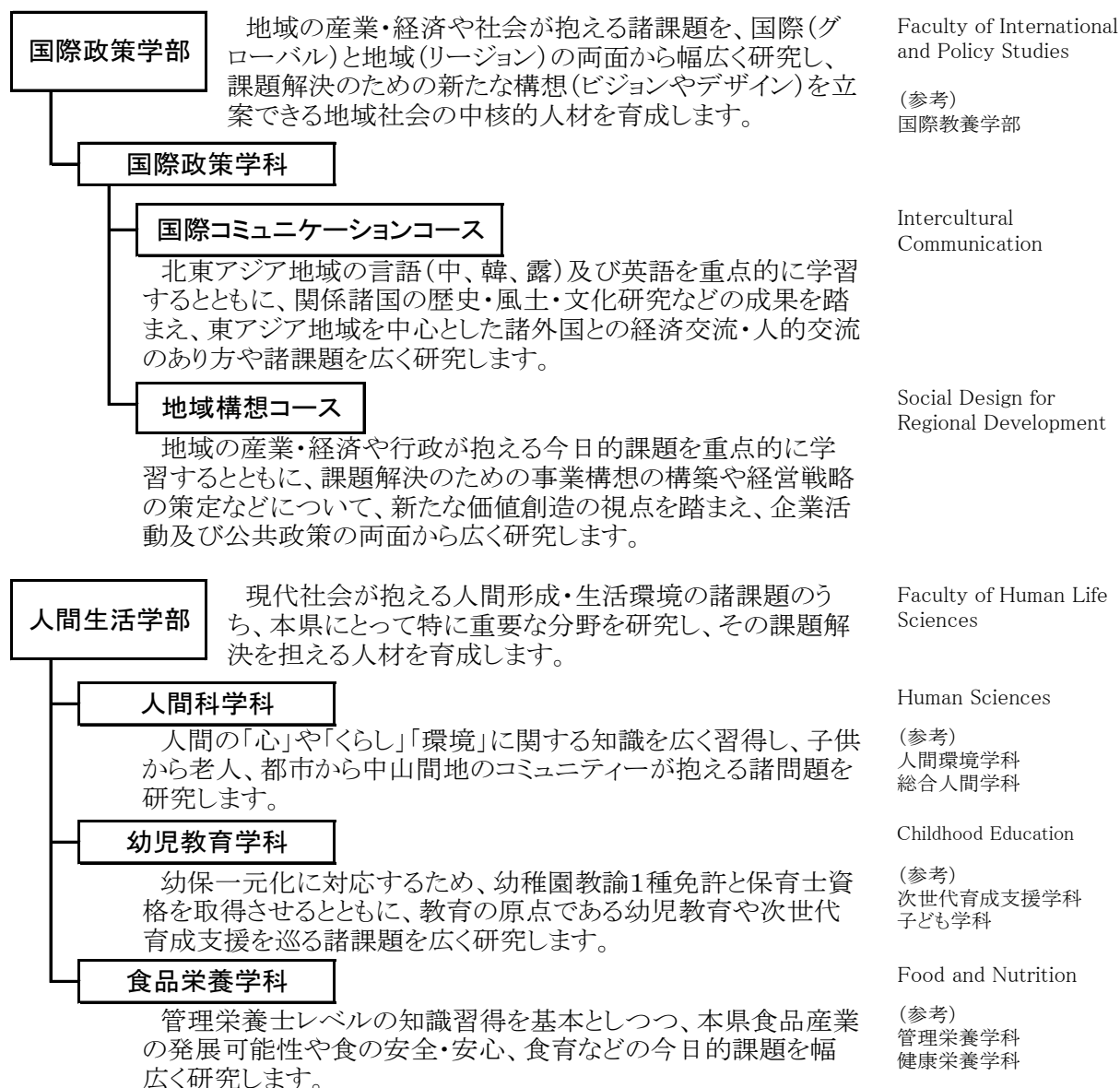
「国際」「地域」「人間」の各視点から企業・社会が抱える諸課題を幅広く研究し、これらの課題解決を担い得る中核的人材を育成する大学を基本理念とします。

3 学部・学科の構成

- (1) 学部・学科は厳選し、2学部4学科とします。
- (2) 学部は、国際交流や産業・地域の課題を国際（グローバル）と地域（リージョン）の両面から研究する「国際政策学部」と、人間形成・生活環境などの課題を人間（ヒューマン）の視点から研究する「人間生活学部」を設置します。
- (3) 学科は、大学進学者の進学状況や企業・社会ニーズに適合する構成を基本に「国際政策」「人間科学」「幼児教育」「食品栄養」の4学科を設置します。なお、国際政策学科には、「国際コミュニケーション」と「地域構想」の2コースを設定します。

新潟県立大学(仮称)の全体像

学部・学科（仮称）	入学定員
国際政策学部	120人程度
国際政策学科	120人程度
国際コミュニケーションコース	60人程度
地域構想コース	60人程度
人間生活学部	120人程度
人間科学科	40人程度
幼児教育学科	40人程度
食品栄養学科	40人程度
合 計	240人程度



4 教育方法の特徴

- (1) 少人数教育や地域ニーズに応じた実践的な教育課程の充実を図ります。
- (2) キャリア教育の充実やインターンシップの導入など、地域に根ざした職業教育の展開を図ります。
- (3) 社会人教育の充実を図り、地域に開かれた大学とします。

5 設置場所、施設

- (1) 新潟市海老ヶ瀬 (現新潟女子短期大学所在地)
- (2) 施設は、現在の女子短期大学の既存施設を一部改修した上で利用します。
なお、不足部分については一部増築で対応します。

6 運営方法

- (1) 運営は、地方独立行政法人を基本として検討します。
- (2) 運営に当たっては、県内の他の高等教育機関(大学など)及び産業界との連携を重視すると共に、本県が抱える諸課題に対応するシンクタンク機能を有する大学を目指します。

7 運営費

運営費（年間・試算）		約 11 億円	(参考) 現短大 8.8 億円
財源内訳	学生納付金等（授業料等）	約 6 億円	3.8 億円
	一般財源	約 5 億円	5.0 億円

8 開学の時期

県民の皆様のご意見や認可申請の状況等を踏まえて決定します。

9 県立新潟女子短期大学の取扱い

- (1) 全面的に男女共学の県立大学に移行します。
- (2) 県立大学の開学年度に学生募集を停止し、在校生の卒業をまって廃止します。